



学ぶ 伸びる 育つ

中央っ子

やさしく かしく たくましく

第9号
令和6年10月18日
中央小学校
文責 上原

後期 スタート

三日間の休みを挟んで、学校は、十月十五日（火）から「後期」となりました。
新しいお友だちが一人増え、五百四十五人での再スタートです。



毎日の生活・行動を大切に

後期始業式では、大リーグで活躍する大谷翔平選手が、野球を始めた小学2年生の頃から大切にしている三つのこと「元気な声を出してプレーする」「キヤッチボールを一生懸命にする」「一生懸命に走る」を紹介し、基本的なことを当たり前のこととしてやり続けることが大切であることを話しました。



前期の終業式では、二年生と四年生の学級代表児童が前期の振り返りを発表してくれました。また、後期始業式では、一年生と六年生の学級代表児童が、あいさつや掃除、五分前行動、算数、漢字、ノートのとり方、鍵盤ハーモニカの演奏など、生活面や学習面、家のお手伝いなど頑張りたいことを発表してくれました。

全校児童の前でしっかりと発表できましたし、上学年はタブレットでプレゼンするなど、日頃の学習を生かし工夫した発表をしていました。
聞いている子ども達も、自分と重ねながら真剣に聞く姿が見られました。

伝えたい感謝

十月十二日（土）に開催した「第二回中央感謝祭」には、多くの児童や保護者、地域の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。

六年生児童によるオーブニングアクトに始まったオーブニングセレモニーで感謝祭がスタート。ステージでは、四・五年生の有志による発表、オーじまん、クイズ、ダンス、お笑い、スペシャル読み聞かせなど盛りだくさんの内容で会場が大いに盛り上がりました。マスコットふれあいタイムでは、マジックキーとあらぞうくんも登場し、子ども達から大人気でした。

また、店舗販売やバザー、体験コーナーでは、子ども達の活気のある呼びかけにどのブースにもたくさんのお客さんが集まり、賑わっていました。



中には、早々に完売してしまう店舗があったり、あまりの人氣に景品が足りなくなったり、ブースなどもあったりして、嬉しい悲鳴が上がっていました。

今回の「中央感謝祭」は、六年生が主体となって企画から運営まで行う取組として実施しました。本番当日も含め、開催に至るまでには、子ども達の素晴らしい頑張りがありました。その陰では、担任をはじめ本校職員を支えがありましたし、多くの保護者や地域の皆様、地元の店舗や企業等のご協力をいただきました。おかげで、大盛況の内に閉会することができました。ありがとうございました。

予想を上回る人出、そして初めての経験で行き届かない点もあったと思いますが、子ども達を温かく見守っていただき感謝いたします。今回の取組を通して学びや経験が、これからの成長と学校全体の活気につながっていくと思います。これからも中央小の応援をお願いします。

